News Release



2024年12月17日

報道関係各位

ツムラ天津工場第2期製造棟の竣工式を開催

~漢方製剤の需要増加に伴い、生産能力を向上し安定供給の実現へ~

株式会社ツムラ(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:加藤照和、以下当社)は中国天津市に有している、当社 100%子会社「天津津村製薬有限公司(以下、天津津村)」での第2期工事が完了し、11月29日に竣工式を行いましたのでお知らせいたします。今回の新棟建設は、国内で需要が拡大している医療用漢方製剤の生産数量を増加し、安定供給を実現することを目的としております。

【完成図】



完成した第2期製造棟



第3期工事終了後の完成予想図

1.本工事の全体像

1期	・2023 年 11 月から国内工場へ出荷を開始
	・2024 年度よりフル稼働
2期	・2024 年 11 月末に竣工式を開催
	・2025 年の本稼働、2027 年にフル稼働予定
3期	・2025 年に竣工し、2027 年の本稼働、
	2028 年にフル稼働予定

各期の稼働予定



建設の全体像

自然と健康を科学する

お問い合わせ先



今回の新棟建設は、需要が拡大している医療用漢方製剤の生産数量を増加し、安定供給を実現することを目的としております。天津津村は国内事業向けの中間製品である漢方エキス粉末の製造・販売を事業内容として設立し、中国最大の漢方エキス粉末生産拠点となる見通しです。当社は第 1 期中期経営計画において、将来の成長(事業規模の拡大)に向けた生産能力の増強および自働化・DX 化への先行投資を掲げており、天津工場では1期から3期まで3段階に分けて建設工事を進めております。

2021 年に竣工した第 1 期製造棟は昨年 11 月から出荷を開始しております。休日の稼働と品目の切り替え時間の短縮などの取り組みにより、今年度は葛根湯や五苓散など計 5 品目の漢方エキス粉末を約 540トン生産する見込みであり、2024 年度よりフル稼働体制に入っております。

今回建設した第 2 期製造棟は、2025 年度からの稼働を予定しています。竣工直後の 1 年間で約 200 トンの出荷量を予定しており、現在稼働中の第 1 期製造棟の約 750 トンと合わせ、2025 年度中には合計で約 950 トンの生産能力になる見込みです。現在第 3 期建設も進めており、2028 年度には第 3 期製造棟も含め、現在予定している製造ラインがすべてフル稼働体制になる見込みです。

その結果、天津津村では約 2,250 トンのエキス粉末生産能力を有することになり、ツムラグループ全体で約 35%の生産能力向上となる見込みです。

2.第1期・第2期製造棟の特徴

第1期・第2期製造棟では、製造工程における搬送等の自働化・省人化、生薬残渣の有価物化、太陽光パネルやグリーン電力の導入による CO2排出量の削減など、生産性の向上やサステナビリティの実現にも取り組んでいます。

生産性向上の実現に向けた具体的な取り組みとしては、これまでコンベアやフォークリフトを使って 人が操作していた搬送作業や調合品の容器搬送などの作業を、天津津村ではロボットに置き換えており、 無人搬送車、無人フォークリフトの他、垂直搬送機、生薬自動投入装置等の導入を行いました。

サステナビリティの実現に向けた具体的な取り組みとしては、太陽光パネルによる発電(年間約 69 万 kWh の見込み)やグリーン電力導入による年間約 1 万 3 千トンの CO2削減を予定しております。これらの取り組みにより、2030 年までに天津津村ではツムラグループの温室効果ガス削減目標である 50%削減を達成する見通しです。



3. 竣工式の様子



11月29日(金)に天津津村で行われた竣工式には、当社の加藤照和(代表取締役社長 CEO)が録画映像で挨拶をした他、高新区管理委員会の韩林氏(副主任)、鹿島本社の一方井孝治氏(常務執行役員)など社外関係者44名にご参列いただきました。

代表取締役社長 CEO 加藤照和の挨拶(要旨)

当社は「中将湯本舗 津村順天堂」として 1893 年に創業いたしました。日本国内における医療用漢方製剤の販売数量は、過去 20 年間で約 3 倍に伸長しております。漢方製剤を必要とされる患者様及び医療関係者の皆様のニーズにお応えすべく、安定供給体制が課題となっております。

そのような背景において天津津村は 2018 年 3 月、日本向け漢方エキス事業として設立し、いずれは中国最大の漢方エキス生産拠点となる見通しです。日本市場における漢方製剤の需要増に対応するために、最先端技術の導入により生産性向上を図り、生産能力を増強しようと 2022 年 5 月から第 2 期製造棟建設を着工しておりましたが、めでたく竣工式を迎えることができました。

またツムラグループの事業は原料生薬の栽培から始まる"漢方バリューチェーン"で構成され、自然環境と深い関わりがあります。2022 年 4 月に、100 年先の未来を見据えた社会的使命として、サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」を策定し、これらを実現すべく積極的に事業活動を行っております。天津津村の第 2 期建設では、このサステナビリティビジョンに基づき、省エネ技術、節水技術、自働化技術を取り入れております。

第 2 期製造棟が本格的に稼働となりますが、天津津村には大きな役割を担う拠点として、安全と品質確保に最善を尽くした活動を期待しております。



4.新棟の概要

(1) 名 称	天津工場第2期製造棟
(2) 所在地	天津市滨海高新区滨海科技园康泰大道 69 号
(3) 建設・施工会社	鹿島建設(中国)有限公司(以下:鹿島建設中国) 東レエンジニアリング株式会社(以下:東レエンジ)
(4) 設計会社	建築(鹿島建設中国)、生産設備(東レエンジ、協立電機など) 審査:天津市医薬設計院有限公司
(5) 機能	漢方エキス粉末の生産 生産工程: (切裁・秤量) ⇒ (調合) ⇒抽出分離⇒濃縮⇒乾燥 * () 第 1 期製造棟で作業
(6) 特徴	自動フォークリフトを新たに導入し省人化を達成
(7) 建物構造	RC 造(4 階建て)
(8) 建設費用	48,000 万人民元(約 1,008,000 万円)
(9) 施工会社	建築・UTT(鹿島建設中国)、生産設備(東レエンジ、協立電機など)
(10) 工期	自 2022年5月 15日
(11) 竣工	2024年2月
(12) 稼働予定	2025 年本稼働開始予定
(13) 生産能力	約 750 t /年 (第 2 期製造棟フル稼働のみ)
(14) 建築面積/延床面積	1,791.61 m ³ /7,016.8 m ³

天津津村について

2018年設立。敷地面積は59,630 m。漢方エキス粉末の製造・販売を事業内容としております。天津津村は天津市東方の滨海高新区に所在し、天津港から約31キロメートル離れた場所にあります。日本へのエキス粉末の輸出に利便性が高く、華東にある上海津村製薬有限公司と生産面のリスク分散が可能であり、また、同区にある盛実百草薬業有限公司に隣接して建設することにより、中国内における生薬の輸送等も効率的であるなどの理由から天津に設立いたしました。

